

# Dankie!!



せいねんかいがいきょうりよくたい  
青年海外協力隊

やまもと れいお  
山本 麗音

はや 早いものでもう3月, 今年度最後の月がやってきました。1年前と比べてどんなことができるようになったでしょう  
か? きつと成長したところがたくさんあると思います。頑張ったところ・もう少し頑張ったらよかったところを振り返ってみ  
て, 残り1ヶ月を有意義に過ごしましょう。

ねんせい 6年生はいよいよ中学生ですね。新しい友だち, 初めての制服, 本格的な部活動など, 楽しみと不安でドキドキして  
いると思います。勉強も部活動も, もちろん友だちとの楽しい時間も全力で!!! 一度しかない中学生生活を思いっきり  
楽しんでください。卒業おめでとう!! 先生は心優しいみんなのことをいつまでも応援しています。

きこく  
ついに帰国します!!



ねんまえ 2年前の7月にナミビアに来てから, 1年9ヶ月がたちました。その間, 本当にいろいろなことがありました。そして,  
ぶじ 無事青年海外協力隊としての活動を終えて, 3月末に帰国します。今はナミビアに来ることができて, 本当に良かった  
ところとおもっています。今回は今までの生活を振り返ってみて, 大変だったことや良かったことを伝えたいと思います。

## たいへん 大変だったこと

わたしが住んでいる地域に日本人は自分1人だけ!! 話す言葉が違うってとても大変!!

→ナミビア人は英語か現地語を話すため, 言いたいことが上手く伝わらず, もどかしい時もありました。

肌の色や顔立ちが違うので, 近くの街に買い物に行ったときは, あれは誰だ? という顔でジロジロ見られたこと。

→ナミビア人は肌の色が濃い人が多く, 初めて見るちがう肌の色や顔立ちに, 悪気がないのは分かっているけど, わたしを見たときのナミビア人の反応に, 時には悲しい思いをしたこともありました。

電気や水道が安定しないときがあること。

→大雨が降ったり, 雷が鳴ったりした後は, 停電が起きることがしばしばありました。たまに断水することもあるけど, 電気が来なくなると, 真っ暗なのはもちろん, 料理をすることもお湯を沸かすこともできません。懐中電灯やロウソクを点けて電気が戻ってくるのをひたすら待っていました。



## 良かったこと



とにかくみんなが優しい!自分のことのように心配したり気にかけてたりしてくれること。

→今日は元気か?何か困っていることはないか?楽しんでいるか?など、いつもみんなが気にかけてくれました。ご近所さん同士も仲が良く、みんなが家族のようで、人と人のつながりがとても温かかったです。



「こうしなければならない」から「こうすることが当たり前」に考えが変わったこと。

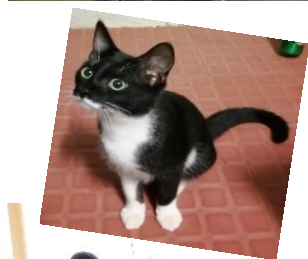
→日本では、親や先生から言われてしかたなくすることがいろいろと多いのかな、と思います。

例えばあいさつ。ナミビアでは、知り合いでも知り合いでなくても、すれ違った人と「元気?」「元気だよー!」とあいさつを交わすことが多いです。これがとても気持ちいい!!あいさつは「しなければならないもの」ではなく、「自然とするもの」なんですね。



大変な思いができたこと。

→え??と思う人もいるかもしれませんが。日本語を話せる人がいない、周りの人たちと見た目が違う、当たり前だと思っていたことが当たり前ではないなど、たくさん大変な思いを経験できました。同時に、わたしはいろいろな人の気持ちを体験することができました。日本にいる外国人はこんなときに悲しい思いをしているのかな、日本語教室のお友だちは、いちから日本語の勉強を頑張っていて大変だろうけどすごいな、日本に来て心細い時に、こんな声をかけてもらったら嬉しいだろうな、などなど。いろいろな人の立場に立って物事を考えてみることで、やっぱり大切なんだな、と改めて感じる事ができました。



げつかん つ あ  
18か月間ナミビアだよりにお付き合いいただき、ありがとうございます

ました。少しでもアフリカを身近に感じてもらっていたら嬉しいです。

山本麗音

